

運用報告書 (全体版)

One世界分散セレクト (Cコース)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2018年9月28日から無期限です。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券*と「DIAMマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、別に定める投資信託証券については、適宜見直しを行います。 ※別に定める投資信託証券：「Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドII Aクラス」
運用方法	主として、わが国を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券、コモディティおよびそれらを投資対象とする上場投資信託証券(ETF)を実質的な投資対象とする別に定める投資信託証券に投資します。なお、別に定める投資信託証券には、国内外の有価証券先物取引、オプション取引、スワップ取引等のデリバティブ取引および外国為替予約取引等を活用するものを含みます。 別に定める投資信託証券への投資割合は、原則として高位とすることを基本とします。 別に定める投資信託証券やその配分比率については、適宜見直しを行います。この際、投資対象として定められていた別に定める投資信託証券が投資対象から除外されたり、わが国を含む世界各国の様々な資産への分散投資に資すると判断される投資信託証券が新たな投資対象として定められることがあります。 1万口当たりの基準価額(過去に支払った収益分配金の金額は含みません。)が2,000円を下回った場合には、投資対象ファンドの売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日(原則として毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の各15日。休業日の場合は翌営業日。)に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 ※第1期(2018年11月15日)の決算は収益分配を行いません。

愛称：100年ギフト

第4期 <決算日 2019年5月15日>
 第5期 <決算日 2019年7月16日>
 第6期 <決算日 2019年9月17日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「One世界分散セレクト(Cコース)」は、2019年9月17日に第6期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

One世界分散セレクト (Cコース)

■設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			投資 組入	信託 証券 比率	純資産 総額
			税金 分配	み 金	騰 落 率			
第1作成期	(設定日) 2018年9月28日	円 10,000	円 -	% -		% -	百万円 2,295	
	1期(2018年11月15日)	9,619	0	△3.8		96.4	2,769	
	2期(2019年1月15日)	9,289	120	△2.2		99.6	3,602	
	3期(2019年3月15日)	9,540	120	4.0		95.4	4,043	
第2作成期	4期(2019年5月15日)	9,377	120	△0.5		98.3	4,370	
	5期(2019年7月16日)	9,453	120	2.1		94.0	5,033	
	6期(2019年9月17日)	9,333	120	0.0		99.5	5,140	

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注4) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

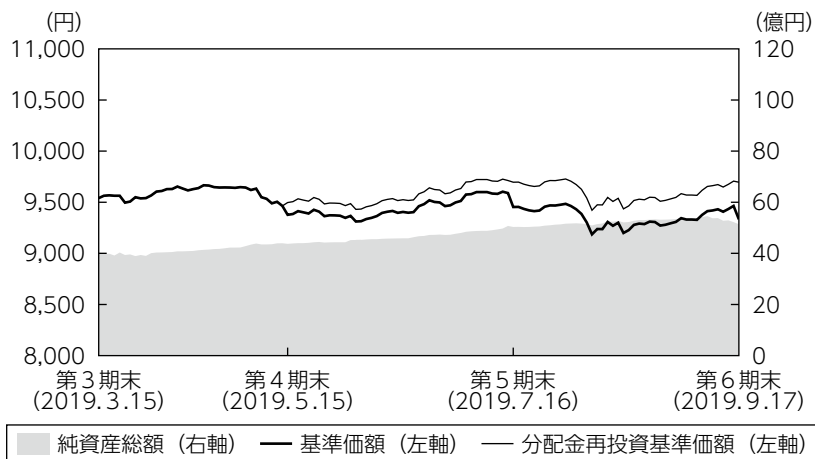
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落	率	
第 4 期	(期 首) 2019 年 3 月 15 日	円 9,540		% -	% 95.4
	3 月 末	9,540		0.0	98.9
	4 月 末	9,620		0.8	96.8
	(期 末) 2019 年 5 月 15 日	9,497		△0.5	98.3
第 5 期	(期 首) 2019 年 5 月 15 日	9,377		-	98.3
	5 月 末	9,366		△0.1	99.7
	6 月 末	9,498		1.3	99.9
	(期 末) 2019 年 7 月 16 日	9,573		2.1	94.0
第 6 期	(期 首) 2019 年 7 月 16 日	9,453		-	94.0
	7 月 末	9,463		0.1	99.1
	8 月 末	9,344		△1.2	98.4
	(期 末) 2019 年 9 月 17 日	9,453		0.0	99.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第4期～第6期の運用経過（2019年3月16日から2019年9月17日まで）

基準価額等の推移



第4期首： 9,540円
 第6期末： 9,333円
 （既払分配金360円）
 騰落率： 1.6%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

欧米の金融緩和姿勢などを背景に、先進国、新興国ともに国債利回りが低下（価格が上昇）したこと、金（ゴールド）の価格が上昇したことがプラスに寄与しました。また、米中貿易摩擦への懸念はあったものの、米国の利下げ期待などを受けて各国の株式市場が上昇基調で推移したこともプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ Aクラス	2.0%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0%

(注) Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ Aクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

欧米の金融緩和姿勢などを背景に、先進国債券や新興国債券は価格が上昇（金利が低下）しました。安全資産として金（ゴールド）も買われ、価格が上昇しました。2019年5月や8月は、米中貿易摩擦の激化懸念などから株式市場が下落する局面もありましたが、米国の利下げ期待などもあり、先進国株式市場や先進国リート市場は概ね上昇基調で推移しました。

為替市場では、欧米の金融緩和姿勢や米中貿易摩擦への懸念から、主要通貨に対して円高が進行しました。特に2019年5月や8月は、米国の対中関税引き上げ方針といった米中貿易摩擦の激化などを背景にリスク回避姿勢が強まったことや、欧米の金利低下などの影響で、円高が進行しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは△0.2%台～△0.0%台のレンジで推移しました。米国の中央銀行にあたるF R B（米連邦準備理事会）が米中貿易問題の深刻化が米国景気に悪影響を与えるのではないかとの見方から再び金融緩和姿勢を強める中、日銀は消費増税を控えて緩和的な金融政策を維持しているため、3ヵ月物国庫短期証券利回りは小幅な動きとなりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ Aクラスの組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ Aクラス

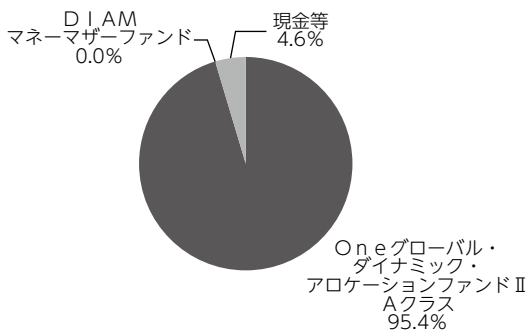
2019年5月上旬から6月上旬、および8月中旬から9月上旬は、市場環境の不安定化から株式等の収益追求資産の比率を引き下げ、基準価額の下落抑制を図りました。それ以外の期間は、概ね市場環境が堅調に推移したことから、国債等のインカム資産と株式等の収益追求資産をバランス良く保有し、相場上昇の恩恵を享受しました。また、国内債券など利回りが低い資産については期を通じて配分を減らしました。

●D I A Mマネーマザーファンド

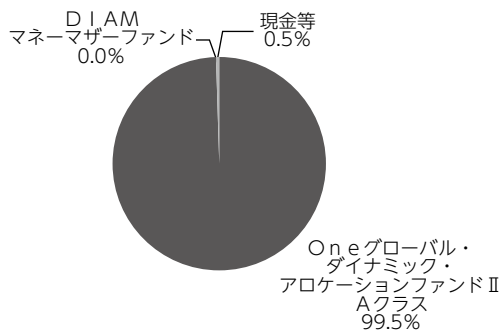
残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては分配方針に基づき、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第4期	第5期	第6期
	2019年3月16日 ～2019年5月15日	2019年5月16日 ～2019年7月16日	2019年7月17日 ～2019年9月17日
当期分配金（税引前）	120円	120円	120円
対基準価額比率	1.26%	1.25%	1.27%
当期の収益	117円	120円	120円
当期の収益以外	2円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	498円	505円	509円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ Aクラスの組入比率は高位を維持します。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡ Aクラス

世界の幅広い資産にバランス良く分散投資するとともに、状況に応じた適切な資産配分を行うことにより、基準価額の相対的に安定した値動きと収益の確保をめざします。

●DIAMマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策の据え置きが予想されています。今後もマイナス金利政策が継続されると考えられるため、国債や政府保証債、地方債などを組入れた運用を行ってまいります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第4期～第6期		項目の概要
	(2019年3月16日 ～2019年9月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.384%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,463円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(11)	(0.121)	
(販売会社)	(23)	(0.247)	
(受託会社)	(2)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	36	0.385	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

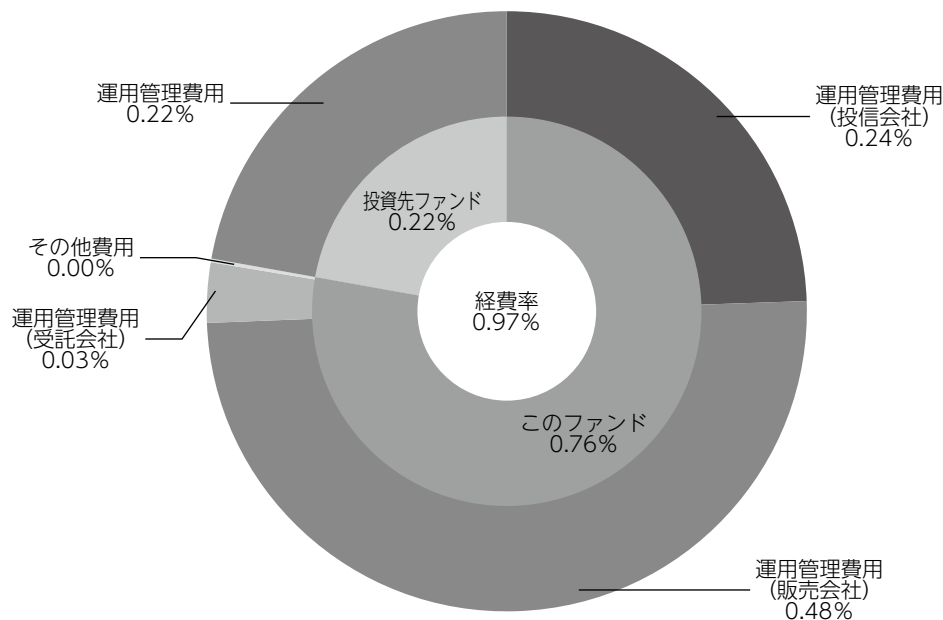
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.97%です。



経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）（①+②）	0.97%
①このファンドの費用の比率	0.76%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2019年3月16日から2019年9月17日まで）
投資信託受益証券

		第 4 期 ~ 第 6 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦建	Oneグローバル・ダイナミック・ アロケーションファンドⅡ Aクラス	千□ 170.242	千円 1,520,000	千□ 17.07	千円 150,227

(注) 金額は受渡代金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2019年3月16日から2019年9月17日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■**利害関係人との取引状況等**（2019年3月16日から2019年9月17日まで）
期中の利害関係人との取引等はありません。
(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■**自社による当ファンドの設定・解約状況**

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 1,000	百万円 -	百万円 800	百万円 200	当初設定時又は当初運用時における取得の処分

■**組入資産の明細**

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 1 作 成 期 末		第 2 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
Oneグローバル・ダイナミック・ アロケーションファンドⅡ Aクラス	千□ 426.82	千□ 579.992	千円 5,115,529	% 99.5
合 計	426.82	579.992	5,115,529	99.5

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 1 作 成 期 末		第 2 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	評 価 額
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 99	千□ 99	千円 100	千円 100

■投資信託財産の構成

2019年9月17日現在

項 目	第 2 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	5,115,529	94.5
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	100	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	296,376	5.5
投 資 信 託 財 産 総 額	5,412,006	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年5月15日)、 (2019年7月16日)、 (2019年9月17日)現在

項 目	第 4 期 末	第 5 期 末	第 6 期 末
(A) 資 産	4,431,757,357円	5,103,860,218円	5,412,006,295円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	133,636,767	371,274,818	225,939,915
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	4,298,020,590	4,732,485,380	5,115,529,440
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド(評価額)	100,000	100,020	100,030
未 収 入 金	—	—	70,436,910
(B) 負 債	61,186,460	69,877,530	271,112,308
未 払 収 益 分 配 金	55,933,230	63,903,270	66,098,201
未 払 解 約 金	—	—	198,177,457
未 払 信 託 報 酬	5,231,951	5,950,066	6,808,961
そ の 他 未 払 費 用	21,279	24,194	27,689
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	4,370,570,897	5,033,982,688	5,140,893,987
元 本	4,661,102,532	5,325,272,578	5,508,183,492
次 期 繰 越 損 益 金	△290,531,635	△291,289,890	△367,289,505
(D) 受 益 権 総 口 数	4,661,102,532口	5,325,272,578口	5,508,183,492口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	9,377円	9,453円	9,333円

(注) 第3期末における元本額は4,238,970,297円、当作成期間(第4期～第6期)中における追加設定元本額は2,112,240,540円、同解約元本額は843,027,345円です。

■損益の状況

〔自 2019年3月16日〕
〔至 2019年5月15日〕

〔自 2019年5月16日〕
〔至 2019年7月16日〕

〔自 2019年7月17日〕
〔至 2019年9月17日〕

項 目	第 4 期	第 5 期	第 6 期
(A) 配 当 等 収 益	59,890,900円	68,809,418円	74,967,010円
受 取 配 当 金	59,911,800	68,824,600	74,987,620
受 取 利 息	360	11	317
支 払 利 息	△21,260	△15,193	△20,927
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△78,392,625	34,506,994	△63,087,167
売 買 益	345,714	34,489,467	3,227,039
売 買 損	△78,738,339	17,527	△66,314,206
(C) 信 託 報 酬 等	△5,253,230	△5,974,260	△6,836,650
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△23,754,955	97,342,152	5,043,193
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△86,437,754	△165,637,605	△124,814,335
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△124,405,696	△159,091,167	△181,420,162
(配 当 等 相 当 額)	(129,120,194)	(165,098,057)	(180,329,089)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△253,525,890)	(△324,189,224)	(△361,749,251)
(G) 合 計(D + E + F)	△234,598,405	△227,386,620	△301,191,304
(H) 収 益 分 配 金	△55,933,230	△63,903,270	△66,098,201
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	△290,531,635	△291,289,890	△367,289,505
追 加 信 託 差 損 益 金	△124,405,696	△159,091,167	△181,420,162
(配 当 等 相 当 額)	(129,120,194)	(165,098,057)	(180,329,089)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△253,525,890)	(△324,189,224)	(△361,749,251)
分 配 準 備 積 立 金	103,279,591	103,903,314	100,131,637
繰 越 損 益 金	△269,405,530	△236,102,037	△286,000,980

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 4 期	第 5 期	第 6 期
(a) 経費控除後の配当等収益	54,637,685円	64,830,587円	68,130,380円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	129,120,194	165,098,057	180,329,089
(d) 分 配 準 備 積 立 金	104,575,136	102,975,997	98,099,458
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a+b+c+d)	288,333,015	332,904,641	346,558,927
(f) 1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	618.59	625.14	629.17
(g) 分 配 金	55,933,230	63,903,270	66,098,201
(h) 1 万 口 当 た り 分 配 金	120	120	120

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 4 期	第 5 期	第 6 期
1 万口当たり分配金	120円	120円	120円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

<補足情報>

■Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡの内容

Oneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡは、One世界分散セレクト（Cコース）の決算日時点でアニュアルレポートが発行されていないため、費用の内訳等のデータはございません。

以下は、One世界分散セレクト（Cコース）が投資を行っているOneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅡの現地2019年9月17日現在の有価証券明細です。

銘柄分類	通貨	評価額 (円)
COMMON STOCKS		
Commodity		
INVESCO DB OIL FUND	U.S. DOLLAR	162,307,500
ISHARES GOLD TRUST	U.S. DOLLAR	161,908,440
Commodity 小計		324,215,940
Corp/Pref-High Yield		
ISHARES USD SHORT	U.S. DOLLAR	522,275,670
Corp/Pref-High Yield 小計		522,275,670
Emerging Market-Debt		
ISHARES JPM EM BND	U.S. DOLLAR	1,014,475,794
Emerging Market-Debt 小計		1,014,475,794
Exchange Traded Fund		
ISHARES GLOBAL REIT	U.S. DOLLAR	476,482,124
Exchange Traded Fund 小計		476,482,124
Geo Focus-Debt		
ISHARES HIGH YLD COR	EURO	671,842,516
Geo Focus-Debt 小計		671,842,516
COMMON STOCKS 合計		3,009,292,044
FUND LEVEL		
EUR FORWARD		
EUR FW	EURO	△406,656,877
EUR FORWARD 小計		△406,656,877
GBP FORWARD		
GBP FW	BRITISH POUND	17,511,809
GBP FORWARD 小計		17,511,809
USD FORWARD		
USD FW	U.S. DOLLAR	△871,192,004
USD FORWARD 小計		△871,192,004
FUND LEVEL 合計		△1,260,337,072

銘柄分類	通貨	評価額 (円)
FUTURES		
FUTURES		
EURO BTP ITALIAN	EURO	△694,650
EURO STOXX 50	EURO	9,298,267
EURO-BUND 10 YR FUT	EURO	△1,162,134
EURO-OAT FUTURE	EURO	△2,644,692
LONG GILT FUTURE	BRITISH POUND	△1,253,521
MSCI EMG MKT IND FUT	U.S. DOLLAR	4,761,561
S&P 500 EMINI FUT	U.S. DOLLAR	8,784,082
TOPIX INDEX FUTURE	JAPANESE YEN	11,880,000
US 10YR NOTE FUTURE	U.S. DOLLAR	△7,716,445
FUTURES 小計		21,252,468
MARGIN		
EUR MARGIN	EURO	83,847,004
GBP MARGIN	BRITISH POUND	5,216,701
JPY MARGIN	JAPANESE YEN	57,340,600
USD MARGIN	U.S. DOLLAR	141,677,830
MARGIN 小計		288,082,135
FUTURES 合計		309,334,603
FX CASH BALANCES		
UnGrouped Security		
BRITISH POUNDS	BRITISH POUND	5,032,836
EURO	EURO	56,281,647
UNITED STATES DOLLAR	U.S. DOLLAR	35,675,191
UnGrouped Security 小計		96,989,674
FX CASH BALANCES 合計		96,989,674
ポートフォリオ合計		2,155,279,249

(注1) 米国みずほ銀行のデータをもとに、アセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 上記明細は、One世界分散セレクト (Cコース) が投資対象とするOneグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドII全体の内容です。

DIAMマネーマザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2019年4月5日）

（計算期間 2018年4月6日～2019年4月5日）

DIAMマネーマザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
6期(2015年4月6日)	10,090	0.1	82.8	—	—	百万円 9,524
7期(2016年4月5日)	10,098	0.1	80.6	—	—	3,158
8期(2017年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	1,045
9期(2018年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

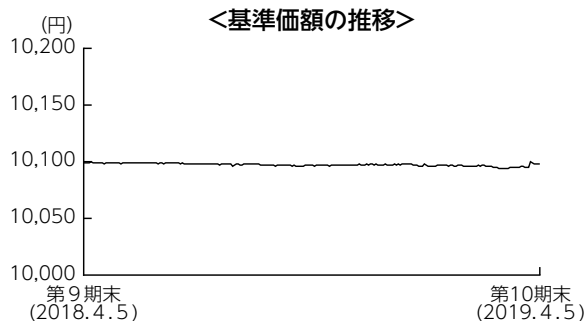
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2018年 4 月 5 日	10,099	% -		% 71.1		% -	% -
4 月 末	10,099	0.0		71.0	-	-	-
5 月 末	10,099	0.0		73.6	-	-	-
6 月 末	10,098	△0.0		72.2	-	-	-
7 月 末	10,098	△0.0		72.2	-	-	-
8 月 末	10,097	△0.0		88.4	-	-	-
9 月 末	10,097	△0.0		79.1	-	-	-
10 月 末	10,097	△0.0		77.9	-	-	-
11 月 末	10,097	△0.0		78.2	-	-	-
12 月 末	10,096	△0.0		71.4	-	-	-
2019年 1 月 末	10,097	△0.0		71.4	-	-	-
2 月 末	10,095	△0.0		71.4	-	-	-
3 月 末	10,100	0.0		79.4	-	-	-
(期 末) 2019年 4 月 5 日	10,098	△0.0		79.4	-	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2018年4月6日から2019年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,098円となり、前期末比で0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

日銀のマイナス金利政策によってコールローンがマイナス利回りとなっているため、その影響を受けて基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね $\Delta 0.3\% \sim \Delta 0.1\%$ 台で推移しました。米国が

金融政策正常化のペースを落としたことや国債市場の需給要因から一時的に利回りが低下する局面もありましたが、米国や中国の景気が市場の見方ほど悪くないのではないかとの見通しが強まったことから期末にかけて利回りは上昇し、期を通して見るとレンジ内での推移となりました。

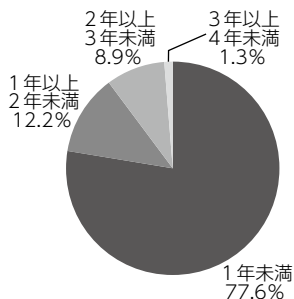
ポートフォリオについて

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

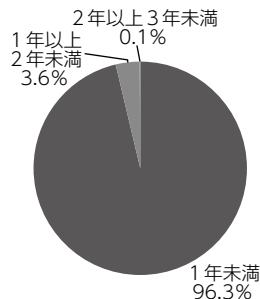
【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比

期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、国債や政府保証債、地方債などを中心に運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合 計	0	0.000

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(10,097円)で除して100を乗じたものです。なお、(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数です。その他は、信託事務の処理に要する諸費用等です。

■ 売買及び取引の状況 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国 債 証 券	12,636,104	(-)
	地 方 債 証 券	40,605	(34,950)
	特 殊 債 券	-	200,019 (329,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 12,676	百万円 202	% 1.6	百万円 200	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	12,600,000	12,631,008	78.1	—	—	—	78.1
地 方 債 証 券	135,830	136,409	0.8	0.6	—	—	0.8
特 殊 債 券	66,000	67,019	0.4	—	—	0.1	0.4
合 計	12,801,830	12,834,437	79.4	0.6	—	0.1	79.3

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	%	千円	千円	
(国債証券)				
3 0 1 回 利付国庫債券（10年）	1.5000	200,000	200,658	2019/06/20
1 2 3 回 利付国庫債券（5年）	0.1000	12,000,000	12,029,040	2020/03/20
3 8 8 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,281	2020/05/15
3 9 1 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,672	2020/08/01
3 9 2 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,357	2020/09/01
小 計	—	12,600,000	12,631,008	—
(地方債証券)				
2 6 年度 4 回 静岡県公募公債	0.2090	14,810	14,816	2019/06/24
2 6 年度 1 回 大阪市みおつくし債	0.2200	6,000	5,999	2019/06/27
2 1 年度 6 回 愛知県公募公債	1.4400	10,000	10,045	2019/07/30
2 6 年度 京都府京都みらい債	0.1600	9,200	9,194	2019/09/02
3 3 1 回 大阪府公募公債	1.4100	10,000	10,078	2019/10/29
2 6 年度 7 回 福岡県公募公債	0.2000	6,500	6,495	2019/12/25
2 1 年度 3 5 回 兵庫県公募公債	1.4600	40,000	40,457	2020/01/22
4 3 回 川崎市公募公債 5年	0.1370	10,850	10,863	2020/03/19
2 7 年度 2 回 千葉県公募公債	0.1770	14,670	14,697	2020/05/25
2 7 年度 京都府京都みらい債	0.1000	13,800	13,762	2020/09/02
小 計	—	135,830	136,409	—
(特殊債券)				
8 9 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	4,000	4,026	2019/09/30
9 3 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	8,000	8,075	2019/11/29

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券)		%	千円	千円	
1 0 0 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	9,000	9,117	2020/02/28
1 1 2 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.1000	30,000	30,455	2020/07/31
1 1 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	6,000	6,093	2020/09/30
1 3 3 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,139	2021/04/30
1 3 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,111	2021/06/30
小	計	—	66,000	67,019	—
合	計	—	12,801,830	12,834,437	—

■投資信託財産の構成

2019年4月5日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円		%
12,834,437		79.4	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,332,745		20.6
投 資 信 託 財 産 総 額	16,167,183		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	16,167,183,546円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,330,773,596
公 社 債(評価額)	12,834,437,613
未 収 利 息	1,577,825
前 払 費 用	394,512
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	16,167,183,546
元 本	16,010,803,187
次 期 繰 越 損 益 金	156,380,359
(D) 受 益 権 総 口 数	16,010,803,187口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,098円

■損益の状況

当期 自2018年4月6日 至2019年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,929,090円
受 取 利 息	7,285,281
支 払 利 息	△356,191
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,516,322
売 買 損 益	73,746
売 買 損 益	△10,590,068
(C) そ の 他 費 用	△279
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△3,587,511
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,082,629
(F) 解 約 差 損 益 金	△48,033
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	149,933,274
(H) 合 計(D+E+F+G)	156,380,359
次 期 繰 越 損 益 金(H)	156,380,359

(注1) 期首元本額 1,020,388,428円
追加設定元本額 14,995,366,726円
一部解約元本額 4,951,967円

(注2) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
ダイナミック・ナビゲーション	98,710円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <円コース>	1,281,836円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <豪ドルコース>	246,797円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <ブラジルレアルコース>	1,689,581円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <中国元コース>	654,944円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資源通貨バスケットコース	4,486,988円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
DIAM 米国リート・インカムプラス	994,728円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円
DIAM・ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジあり>	9,909円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジなし>	9,909円
マッシュューズ・アジア株式ファンド	99,019,705円
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
リスクコントロール型ETF分散投資ファンド (適格機関投資家限定)	39,612,786円
USD/JPYダイナミックヘッジ戦略ファンド-2019 (適格機関投資家限定)	14,851,485,149円
期末元本合計	16,010,803,187円

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。